

項 目		審査内容		適・否
外	材 料	鋼板又はこれと同等以上の防火性能を有するものか。		
	板 厚	1. 6 mm (屋外用 2. 3 mm) 以上か。		
	開口部	防火設備が設けられているか。		
		網入りガラスは不燃材料で固定されているか。		
	固 定	床に容易かつ堅固に固定できる構造か。		
	防 水	機器は外箱の底面から 10 cm 以上離して収納されているか。		
	隙 間	直径 10 mm の丸棒が入る穴、隙間等はないか。		
箱	外部露出設置可能機器 (屋外用は、雨水防止措置)	各種表示灯	カバーは難燃材料以上か。	
		電圧計	ヒューズ保護されているか。	
		電流計	計器用変成器を介しているか。	
		スイッチ類	難燃材料以上か。	
		周波数計その他操作に必要な計器類、冷却水の出し入れ口、各種水抜き管、燃料補給出し入れ口、燃料配管、電線の引出し口、換気口及び換気設備、排気筒、排気消音器、息抜き管、始動用空気管の出し入れ口以外の露出機器はないか。		
排気筒等の設置		排気筒及び消音器を容易に取り付けられるか。		
機器の設置		機器は外箱又は配電盤等に堅固に固定されているか。		
内燃機関及び 発電機の収納 状況		内燃機関等を収納する部分是不燃材料で区画され、遮音措置が講じられているか。		
		内燃機関等は、防振ゴム等振動吸収装置の上に設けられているか。		
		給油口は、給油の際の漏油により電気系統又は内燃機関の機能に異常を及ぼさない位置に設けられているか。		
電 線 等		断熱処理を行うとともに、固定されているか。		
		電線の引出し口は、金属管、金属製可とう電線管を容易に接続できるか。		
換 気 装 置	空気の流通は十分に行えるものか。			
	自然換気口の開口部の面積の合計は、それぞれ 1 の面につき 3 分の 1 以下か。			
	自然換気が十分に行えないものは、機械式換気設備が設置されているか。			
	換気口には、金網、金属製ガラリ、防火ダンパー等防火措置がこうじられているか。			

備考 基準に適合している場合は「○」を、適合していない場合は「×」を適否欄に記入すること。